

ネビュラの意味と可能性

CAF.NはNebula(ネビュラ)の頭文字で星雲を意味します。アートの交流が渦巻状に展開されること、充満したアートのエネルギーが新しい時代に生きる人たちに届くことを願って名付けられました。

CAFは1978年以来、埼玉美術の祭典、第1次CAF展、第2次CAF展、CAFネビュラ展と呼称を変更しながら、現代美術のコンセプトと表現の問題を社会に問う運動を展開してきました。地域とアートの交流を中心に位置づけ、さらに国際交流も視野に入れ、活動の密度を高めていこうとしています。

2019 CAFネビュラ展実行委員会

CAF.N協会の歩みとプロジェクト

- 1978～1983 埼玉美術の祭典(6回)
1984～1987 現代美術の祭典(4回)
1988 現代美術120人展(Pre-CAF)
1989～1991 Contemporary Art Festival(第1次CAF展・3回)
1993～2003 Contemporary Art Festival(第2次CAF展・10回)
2004～現在 CAFネビュラ展
(埼玉県立近代美術館、2013,2014 せんだいメディアテーク)
2004 アイスランド日本現代美術展(ハフナルボルグ美術館/アイスランド)
2005 CAF.N京都展(ギャラリーそわか)
2006,2008,2010,2012 CAF.N横浜展(横浜市民ギャラリー)
2006 CAF.Nミシガン展(ミシガン大学ギャラリー/アメリカ)
2006～2013 コンバレゾン展(グランバレー/パリ)
2007 CAF.N銀座展(ギャラリー風)
2007 CAF.N松江展(島根県立美術館)
2007,2009 CAF.N仙台展(せんだいメディアテーク)
2008 CONTEMPORARY ARTISTS OF JAPAN
(ノースアリゾナ大学ギャラリー/アメリカ)
2008 CAF.Nラトヴィア展(リーガ国立海外美術館/ラトヴィア)
2010～2018 CAF.Nびわこ展(大津市歴史博物館)
2011,2017 CAF.N金沢展(金沢21世紀美術館)
2012 CAF.N熊本展(熊本県立美術館分館)
2014 CAF.N渋川展(渋川市美術館)

出品作家(96名)

| | | | | |
|--------|-----------|--------|-------------------|--------|
| 青木 孝子 | 片桐 十三夏 | 硯川 秀人 | 仲野 真 | 宮本 義満 |
| 青木 俊子 | 菅野 美榮 | 硯川 有紀 | 中吉 京子 | 村井 知香子 |
| 明地 信之 | 木島 隆夫 | 清野 光男 | 新居 妙子 | 村田 純江 |
| 石橋 高次 | 倉藤 紀子 | 高島 芳幸 | 野口 真理 | 森 竹巳 |
| 李 宣喜 | 小泉 桂子 | 高野 真木子 | 野原 一郎 | 安田 淳 |
| 伊藤 克広 | 甲谷 武 | 鷹啄 義峰 | 萩原 万里子 | 弥富 充代 |
| イマイ 恵子 | 小金 富美子 | 高橋 輝夫 | 林 正彦 | やはた 文明 |
| 上田 貞子 | 五嶋 稔 | 鷹嘴 直 | 平尾 武夫 | 山本 和子 |
| 上田 靖子 | 小松原 洋生 | 高山 典子 | 平塚 良一 | ゆうこ・ゆう |
| 植野 智子 | 小松 富士子 | 田島 和子 | 平野 雅子 | 吉岡 友次郎 |
| 右近 多恵子 | 近藤 あき子 | 多田 洋子 | 広瀬 弘子 | 渡辺 武郎 |
| 大島 由美子 | 斎藤 英和 | 田村 優幸 | 藤下 覚 | |
| 奥野 由利 | 坂谷 和夫 | 土田 香奈子 | 藤原 和子 | |
| 尾崎 ゆみ | 坂本 伸市 | 鶴巻 美智子 | 星 見 | |
| 小澤 はるみ | 桜井 武人 | 豊島 淳子 | Lisa Keiko Kirton | |
| 小田原 佳美 | 佐藤 淳一 | 中井 弥生子 | Vasilis Avramidis | |
| おづたかし | 佐藤 洋子 | 中川 知美 | Elisa Bertaglia | |
| 小野寺 恵美 | 菅野 純子 | 長沢 晋一 | 松本 安良 | |
| 柏尾 伊佐雄 | 鈴木 修一(平面) | 中嶋 令恵 | 南 照子 | |
| 鹿島 寛 | 鈴木 治男 | 永田 ケイ子 | 飯田 貴子 | |
| | | | [ゲスト作家] | |
| | | | 前田 忠一 | |
| | | | Vasilis Avramidis | |
| | | | Elisa Bertaglia | |
| | | | 飯田 貴子 | |



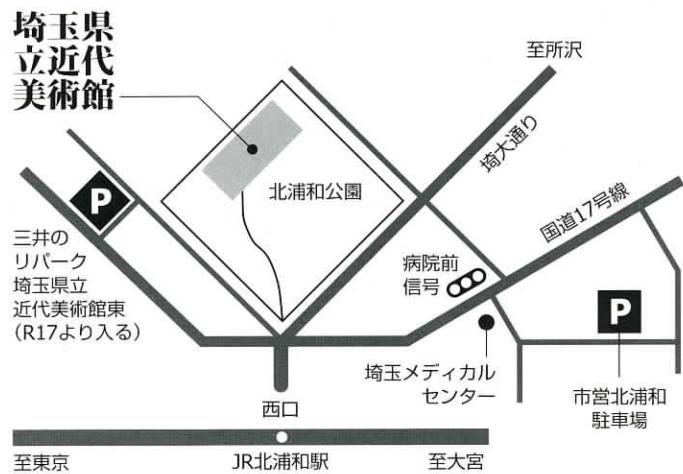
2018 CAFネビュラ展 会場風景



2018 CAFネビュラ展 会場風景



特別企画2 アーティストトーク(出品作家による作品解説/昨年度の様子)



JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分
埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1

美術館の専用駐車場はありません